

坂城町内遺跡発掘調査報告書2008

—平成20年度試掘・立会い調査報告書—

2009.3

坂城町教育委員会

坂城町内遺跡発掘調査報告書2008

—平成20年度試掘・立会い調査報告書—

2009.3

坂城町教育委員会

例 言

- 1 本書は長野県埴科郡坂城町における開発事業に伴う、平成20年度の町内遺跡の試掘調査及び立会い調査の報告書である。
- 2 調査の費用は、国庫の補助金及び町費にて対応した。
- 3 調査の体制
担 当 者 時信 武史（坂城町教育委員会学芸員）
協 力 者 朝倉 妙子、天田 澄子、坂巻ケン子、萩野れい子（以上、町臨時職員）
- 4 事務局の構成
教 育 長 長谷川 臣
教 育 文 化 課 長 西沢 悦子
文化財センター所長 赤池 利博
文 化 財 係 時信 武史
朝倉 妙子、天田 澄子、坂巻ケン子、千野 美樹、
中沢あつみ、萩野れい子（以上、町臨時職員）
- 5 本書の執筆・編集は赤池・時信が行った。
- 6 本書及び調査に関する資料は、坂城町教育委員会の責任下において保管されている。

凡 例

- 1 本文中の面積は、開発対象面積と調査面積を記載し、（ ）内に調査面積を記載した。
- 2 挿図の縮尺は、各図ごとに縮尺を示した。
- 3 報告書抄録に記載された北緯・東経の座標値については、平成14年4月1日から施行された測量法改正に伴う、世界測地系に基づいた数値を記載した。

目 次

例 言
凡 例

第 I 章 坂城町の遺跡の立地と環境	1
第 1 節 地理的環境	1
第 2 節 歴史的環境	1
第 II 章 試掘調査の結果	6
1 金井東遺跡群 1	6
2 四ッ屋遺跡群 12	8
3 上町遺跡 V	10
4 田町遺跡群 7	12
5 上町遺跡 VI	14
6 町横尾遺跡 3	16
7 開畝遺跡 6	18
8 寺浦遺跡 IV	20
第 III 章 立会い調査の結果	22
報告書抄録	

第I章 坂城町の遺跡の立地と環境

第1節 地理的環境

坂城町は北信地方と東信地方の接合点にあたり、善光寺平を構成する更埴地方の最南端に位置する。町の地形は、中央部を貫流する千曲川の氾濫によって形成された氾濫原と、千曲川に流れ込む小河川がつくりだした扇状地によって形づくられた小盆地（坂城盆地）に特徴がある。町の北から東にかけては五里ヶ峰・大峰山・虚空蔵山をはじめとする標高1100～1300m前後の山々が連続し、千曲市・上田市との市町村界を形成し、西は大林山、三ツ頭山などの標高1000m前後の山々が連続し、千曲市・上田市との市町村界となっている。南は千曲川右岸の岩鼻と左岸の半過の岩鼻が狭隘な地形を形成し、上田盆地と隔てられている。このような地形から、古来よりこの地域は千曲川流域の要衝の地として注目されてきた。

この地域の気候は、南北に開けた小盆地状をなしていることから、季節風の影響を受けやすいため、夏季は南風、冬季は北風が強い。また、盆地状になっていることから寒暖の差が大きい。降水量は少なく、日本で最も雨量の少ない地域の一つとされている。現在では、この気候も関連し、工業が主要な産業となっており、農業では、りんご・バラ・ぶどうの栽培が盛んである。

第2節 歴史的環境

ここで、坂城町の各時期について代表的な遺跡を挙げながら、町の歴史的環境について概略的にふれておきたい。（括弧内の数字は3、4ページの坂城町遺跡分布図における遺跡番号を示す）

坂城町で最古の遺物は、約14,000～15,000年前の後期旧石器時代の土ヶ屋型彫刻器とされる石器である。この石器は南条地区の保地遺跡（3-1）より採集されたものであるが、本出土品以外には込山D遺跡に槍先型尖頭器の出土があるが、詳細は不明である。

縄文時代の遺構・遺物では早期押型文系の土器が坂城地区の和平A遺跡や平沢遺跡で採集されている。また、平成12年度に発掘調査が実施された坂城地区の込山C遺跡（30-3）からも押型文系の土器片が少量出土しているが、これらは現在整理中である。この他に縄文時代前期・中期の土器も出土している。後期・晩期では、学史的にも有名な保地遺跡が挙げられる。保地遺跡は昭和40年度と平成11年度に発掘調査が実施されている。前者は縄文時代後期後半から晩期後半までの土器・石器群と、後期後半に属するとされる特殊儀礼的遺構の検出が『考古学雑誌』に報告されている（関 1966）。後者については、縄文時代晩期に位置づけられる再葬墓が検出されており、中でも約19個体分の人骨が埋葬された2号墓址が目玉される。その他、坂城地区の込山D遺跡（30-4）から昭和初期に採集された遮光器土偶の頭部がある。

弥生時代では、中期以前の調査例がないため状況は不明である。後期後半では、平成5年度に南条地区の塚田遺跡（1-7）で発掘調査が実施され、この時期に属する竇穴住居址36棟をはじめとする遺構が検出され、土器、石器、土製品、及び鉄製品が出土している。

古墳時代では、前期古墳は確認されていないが、中期古墳には中之条地区の仮称東平1号墳・2号墳が挙げられる（註1）。これらは、平成5年度に実施された上信越自動車道建設に伴う発掘調査で、埴輪や土器などの出土品から、1号墳は5世紀第2四半期後半、2号墳は5世紀第2四半期前半に位置づけられた（若林1999）。後期古墳では、町内でいくつかの古墳群の存在が知られているが、中でも代表的なものは村上地区の福沢古墳群小野沢支群に属する御厨社古墳である。埋葬施設に千曲川水系最大級の横穴式石室を持ち、

全長11.2mを測り、勾玉や切子玉、耳環などが出土している。古墳時代後期の集落址は町内においても多く検出され、特に環状に土器が配列された祭祀遺構が検出された南条地区の青木下遺跡（1-8）が目目される。奈良時代・平安時代の遺跡では、中之条地区の中之条遺跡群（8）とその周辺遺跡に多くの調査例があり、この地域における奈良・平安時代の状況が徐々に解明されつつある。具体的には、寺浦遺跡（8-1）、上町遺跡（8-2）、東町遺跡（8-3）、宮上遺跡（8-5）、北川原遺跡（8-6）、豊饒堂遺跡（20）、開畝遺跡（21）で調査が実施され、古墳時代後期後半～平安時代までの集落址が判明している。また、平安時代の生産遺跡として坂城地区の土井ノ入窯跡（32）があり、瓦の生産が行われていたことが判明し、本遺跡で生産された瓦は、現在の坂城小学校がある場所に8世紀末～9世紀頃に存在していたとされる込山廃寺（54）に用いられたほか、上田市信濃園分寺・園分尼寺、千曲市正法廃寺の補修用の差し瓦として使用されていたことが判明している。

平安時代後期、寛治8年（嘉保元）（1094）に村上地区に配流されてきた源盛清が後に村上氏として勢力を持つようになり、戦国時代には村上義清が活躍するようになった。義清の頃、村上氏の居館は現在の坂城地区の満泉寺一帯に所在したとされ、その背後にそびえる葛尾山の山頂には、義清が使用した葛尾城跡（44）がある。このほか、中世の遺跡では坂城地区の観音平経塚（55）をはじめとする経塚と中之条地区の開畝製鉄遺跡（53）がある。観音平経塚は昭和54年と平成4年に調査が行われたが、平成4年の調査では、経塚の年代は14世紀第2四半期とされ、その周辺の五輪塔群の造営時期は14世紀第2四半期から16世紀前半頃に位置づけられている（若林1999）。開畝製鉄遺跡は、昭和52・53年に坂城町教育委員会によって学術調査が実施され、16世紀頃の製鉄炉址2基が確認されている。この調査は県内初の製鉄遺跡の学術調査として学史に位置づけられるものであった。

江戸時代に入ると、現在の坂城地区を主体とする坂木村、中之条地区を主体とする中之条村には幕府の代官所が置かれ、以後明治維新まで天領として支配された。このことから、この地域を重要視していたことが看取される。代官所は最初、坂木（61）に置かれたが、明和4年（1767）に焼失し、その後、安永8年（1779）には中之条に代官所が置かれるようになった。

以上、近世までの坂城町の歴史を概略した。

註1 周知の御堂川古墳群東平支群1号墳・2号墳とは異なる可能性があるため、仮称とされている。今後、正式な古墳名称の確定が必要である。

参考文献（五十音順・敬称略）

- 坂城町教育委員会 1978『開畝製鉄遺跡—第1次調査報告』 1979『開畝製鉄遺跡—第2次調査報告』 1993『宮上遺跡Ⅱ』 1995『東条遺跡』 1996『豊饒堂遺跡・上町遺跡・寺裏遺跡・東町遺跡』 1996『寺浦遺跡Ⅱ』 2000『開畝遺跡Ⅲ』 2001『宮上遺跡Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ』 2002『保地遺跡Ⅱ』
- 岡 孝一 1966『長野県補科部保地遺跡発掘調査概報』『考古学雑誌』第51巻第3号
- 森嶋 悠ほか 1981『坂城町誌』小巻 歴史編（一）
- 柳沢 亮 1998『第5巻 開畝遺跡』『北陸新幹線埋蔵文化財発掘調査報告書2』（財）長野県埋蔵文化財センター
- 若林 卓 1999『第9章 東平古墳群』『第11章 観音平経塚』『上信越自動車道埋蔵文化財発掘調査報告書21』（財）長野県埋蔵文化財センター



坂城町道跡分布図

図面番号	道跡名	種別	時代
1	野島遺跡群 野島遺跡	集落址	弥生~平安
-1	野島遺跡群 野島遺跡	集落址	弥生~平安
-2	野島遺跡群 野島遺跡(墓)	集落址	弥生~平安
-3	野島遺跡群 野中井(遺跡)	集落址	弥生~平安
-4	野島遺跡群 野中井(遺跡)	集落址	弥生~平安
-5	野島遺跡群 野中井(遺跡)	集落址	弥生~平安
-6	野島遺跡群 野中井(遺跡)	集落址	弥生~平安
-7	野島遺跡群 野中井(遺跡)	集落址	弥生~平安
-8	野島遺跡群 野中井(遺跡)	水田跡(遺跡)	弥生~平安
2	金井高瀬遺跡 金井高瀬	集落址	縄文~平安
-1	金井高瀬遺跡 金井高瀬	集落址	縄文~平安
-2	金井高瀬遺跡 金井高瀬(倉庫跡)	集落址	縄文~平安
-3	金井高瀬遺跡 金井高瀬	集落址	縄文~平安
3	金井高瀬遺跡 金井高瀬	集落址	縄文~平安
-1	金井高瀬遺跡 金井高瀬	集落址	縄文~平安
-2	金井高瀬遺跡 金井高瀬	集落址	縄文~平安
-3	金井高瀬遺跡 金井高瀬	集落址	縄文~平安
-4	金井高瀬遺跡 金井高瀬	集落址	縄文~平安
4	第1号古墳	古墳	古墳
5	第2号古墳	古墳	古墳
6	町屋古墳群	古墳群	縄文~平安
7	北橋古墳	古墳	古墳(後継)
8	中之島遺跡群 中之島遺跡	集落址	縄文~平安
-1	中之島遺跡群 中之島遺跡	集落址	縄文~平安
-2	中之島遺跡群 中之島遺跡	集落址	弥生~平安
-3	中之島遺跡群 中之島遺跡	集落址	縄文~平安
-4	中之島遺跡群 中之島遺跡	集落址	縄文~平安
-5	中之島遺跡群 中之島遺跡	集落址	縄文~平安
-6	中之島遺跡群 中之島遺跡	集落址	縄文~平安
9	鹿島原穴遺跡(穴遺跡)	古墳	古墳(後継)
10	野川古墳群	古墳	古墳(後継)
-1	野川古墳群 入塚支那 向土古墳	古墳	古墳(後継)
-2	野川古墳群 入塚支那 向土古墳	古墳	古墳(後継)
11	入塚支那遺跡	古墳	平安
12	野川古墳群 上塚支那	古墳	古墳(後継)
13	野川古墳群 上塚支那	古墳	弥生~近世
14	野川古墳群 上塚支那	古墳	古墳(後継)
15	山崎遺跡	古墳	古墳(後継)
16	野川古墳群 山崎支那	古墳	古墳(後継)
17	野川古墳群 山崎支那	古墳	古墳(後継)
-1	野川古墳群 山崎支那	古墳	古墳(後継)
-2	野川古墳群 山崎支那	古墳	古墳(後継)
-3	野川古墳群 山崎支那	古墳	古墳(後継)
-4	野川古墳群 山崎支那	古墳	古墳(後継)
-5	野川古墳群 山崎支那	古墳	古墳(後継)
-6	野川古墳群 山崎支那	古墳	古墳(後継)
-7	野川古墳群 山崎支那	古墳	古墳(後継)
-8	野川古墳群 山崎支那	古墳	古墳(後継)
-9	野川古墳群 山崎支那	古墳	古墳(後継)
-10	野川古墳群 山崎支那	古墳	古墳(後継)
-11	野川古墳群 山崎支那	古墳	古墳(後継)
-12	野川古墳群 山崎支那	古墳	古墳(後継)
-13	野川古墳群 山崎支那	古墳	古墳(後継)
-14	野川古墳群 山崎支那	古墳	古墳(後継)
18	野川古墳群 山崎支那 二重古墳	古墳	古墳(後継)
19	野川古墳群 山崎支那	古墳	古墳(後継)
20	野川古墳群 山崎支那	集落址	縄文~弥生
21	野川古墳群 山崎支那	集落址	弥生~平安
22	野川古墳群 山崎支那	古墳	古墳(後継)
23	野川古墳群 山崎支那	集落址	縄文~平安
24	野川古墳群 山崎支那	集落址	古墳~平安
25	野川古墳群 山崎支那	集落址	弥生~平安
26	野川古墳群 山崎支那	古墳	古墳(後継)
27	金井高瀬遺跡(遺跡内)	集落址	縄文~平安
28	遠平跡	集落址	中世
29	野川古墳群	古墳	平安
30	野川古墳群	集落址	縄文~平安
-1	山崎遺跡群 山崎支那(水上)	集落址	縄文~平安
-2	山崎遺跡群 山崎支那(社跡)	集落址	縄文~平安
-3	山崎遺跡群 山崎支那(社跡)	集落址	縄文~平安
-4	山崎遺跡群 山崎支那(社跡)	集落址	縄文~平安
-5	山崎遺跡群 山崎支那(社跡)	集落址	縄文~平安
31	野島古墳群 野島古墳	集落址	弥生~平安
-1	野島古墳群 野島古墳	集落址	弥生~平安
-2	野島古墳群 野島古墳	集落址	弥生~平安
32	上井ノ入遺跡	集落址	弥生~平安
33	平林遺跡	集落址	縄文

図面番号	道跡名	種別	時代
34	遠平跡	集落址	平安
35	平林遺跡	集落址	縄文
36	野川遺跡群	集落址	縄文~平安
-1	野川遺跡群 野川支那	集落址	縄文~平安
-2	野川遺跡群 野川支那	集落址	弥生
-3	野川遺跡群 野川支那	集落址	平安
37	金井高瀬遺跡	古墳	古墳(後継)
-1	金井高瀬遺跡	集落址	中世
39	北谷古墳群	古墳	古墳(後継)
40	北谷古墳群	集落址	中世
41	北谷古墳群	古墳	古墳(後継)
-1	北谷古墳群	古墳	古墳(後継)
-2	北谷古墳群	古墳	古墳(後継)
42	熊ノ木遺跡	集落址	縄文
43	野川遺跡群	集落址	平安
44	野川遺跡群	集落址	平安
45	加瀬川古墳群	古墳	古墳(後継)
-1	加瀬川古墳群 出波支那1号墳	古墳	古墳(後継)
-2	加瀬川古墳群 出波支那2号墳	古墳	古墳(後継)
-3	加瀬川古墳群 出波支那3号墳	古墳	古墳(後継)
-4	加瀬川古墳群 出波支那4号墳	古墳	古墳(後継)
-5	加瀬川古墳群 出波支那5号墳	古墳	古墳(後継)
-6	加瀬川古墳群 出波支那6号墳	古墳	古墳(後継)
-7	加瀬川古墳群 出波支那7号墳	古墳	古墳(後継)
46	結沢遺跡	集落址	弥生~平安
47	結沢古墳群	古墳	古墳(後継)
-1	結沢古墳群 小野沢支那1号墳(御膳所古墳)	古墳	古墳(後継)
-2	結沢古墳群 小野沢支那2号墳	古墳	古墳(後継)
-3	結沢古墳群 小野沢支那3号墳(マツウラ古墳)	古墳	古墳(後継)
-4	結沢古墳群 小野沢支那4号墳	古墳	古墳(後継)
48	小野沢古墳群	集落址	弥生~平安
49	野川古墳群 野川支那	古墳	古墳(後継)
50	野川古墳群 野川支那	古墳	古墳(後継)
51	野川古墳群 野川支那	集落址	中世
52	野川古墳群 野川支那	集落址	中世
53	野川古墳群 野川支那	集落址	中世
54	山崎古墳群	集落址	平安
55	野川古墳群 野川支那	集落址	中世
56	野川古墳群 野川支那	集落址	中世
57	野川古墳群 野川支那	集落址	弥生~平安
58	野川古墳群 野川支那	集落址	平安
59	野川古墳群 野川支那	集落址	平安
60	野川古墳群 野川支那	集落址	平安
61	野川古墳群 野川支那	集落址	平安
62	野川古墳群 野川支那	集落址	平安
63	野川古墳群 野川支那	集落址	平安
64	野川古墳群 野川支那	集落址	平安
65	野川古墳群 野川支那	集落址	平安
66	野川古墳群 野川支那	集落址	平安
67	野川古墳群 野川支那	集落址	平安
68	野川古墳群 野川支那	集落址	平安
69	野川古墳群 野川支那	集落址	平安
70	野川古墳群 野川支那	集落址	平安
71	野川古墳群 野川支那	集落址	平安
72	野川古墳群 野川支那	集落址	平安
73	野川古墳群 野川支那	集落址	平安
74	野川古墳群 野川支那	集落址	平安
75	野川古墳群 野川支那	集落址	平安
76	野川古墳群 野川支那	集落址	平安
77	野川古墳群 野川支那	集落址	平安
78	野川古墳群 野川支那	集落址	平安
79	野川古墳群 野川支那	集落址	平安
80	野川古墳群 野川支那	集落址	平安
81	野川古墳群 野川支那	集落址	平安
82	野川古墳群 野川支那	集落址	平安
83	野川古墳群 野川支那	集落址	平安
-1	野川古墳群 野川支那	集落址	平安
-2	野川古墳群 野川支那	集落址	平安
-3	野川古墳群 野川支那	集落址	平安
84	野川古墳群 野川支那	集落址	平安
85	野川古墳群 野川支那	集落址	平安
86	野川古墳群 野川支那	集落址	平安
87	野川古墳群 野川支那	集落址	平安
88	野川古墳群 野川支那	集落址	平安
89	野川古墳群 野川支那	集落址	平安
90	野川古墳群 野川支那	集落址	平安
91	野川古墳群 野川支那	集落址	平安
92	野川古墳群 野川支那	集落址	平安
93	野川古墳群 野川支那	集落址	平安
94	野川古墳群 野川支那	集落址	平安
95	野川古墳群 野川支那	集落址	平安
96	野川古墳群 野川支那	集落址	平安
97	野川古墳群 野川支那	集落址	平安
98	野川古墳群 野川支那	集落址	平安
99	野川古墳群 野川支那	集落址	平安
100	野川古墳群 野川支那	集落址	平安



試掘調査位置図 (1 : 25,000)

第Ⅱ章 試掘調査の結果

1 かな いひがしい せきぐん 金井東遺跡群 1

所在地 坂城町大字南条字反畑

2452-3

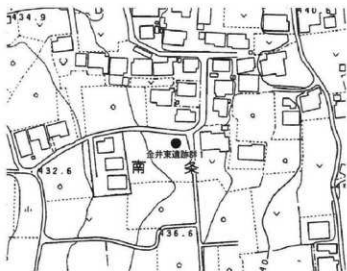
事業主体 株式会社天田不動産

事業名 宅地造成

調査期間 平成20年4月7日

面積 1,403㎡ (70㎡)

担当者 時信 武史



試掘調査位置図 (1 : 2500)

遺跡の環境と調査にいたる経緯

金井東遺跡群は、坂城町大字南条に所在し、西に流下する谷川によって形成された扇状地上に位置している。本金井東遺跡群には、大木久保遺跡、保地遺跡、山金井遺跡、酒玉遺跡がある。保地遺跡では昭和40年と平成11年度に発掘調査が実施され、中でも平成11年度に実施された調査では、縄文時代後期に属する墓址が異存状態の良好な人骨を伴って検出された。

今回、株式会社天田不動産による宅地造成事業が計画され、遺跡の状況を確認するため試掘調査を実施することとなった。



1号トレンチ検出状況 (南より)

調査の成果

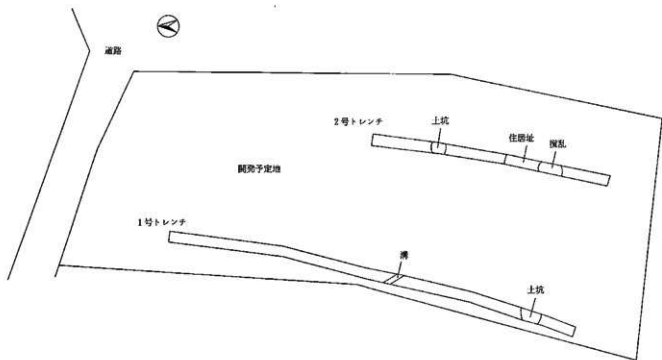
今回の計画地は、西方向に流下する谷川左岸の扇状地上に位置している。試掘トレンチを2箇所設定し、遺構の有無を確認した。

試掘調査の結果、地表下約0.5mにて地山の砂礫層を検出し、この面を掘り込み面とする住居址が1棟、土坑が2基、溝状遺構が確認された。遺物は出土しなかったため時期は不明である。

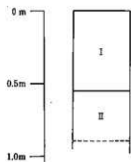
試掘調査の結果を踏まえて事業主と再協議を行い、遺跡を盛土保存することとして調査を終了した。



2号トレンチ検出状況 (南より)



試掘トレンチ設定図 (1:400)



- I層 黒褐色土 (10YR3/2)、雫・粘土粒・炭化粒を含む。耕作層。
 II層 褐色土 (10YR4/6) 礫層、砂礫を多く含む。堆山層。

基本層序模式図

2 よつやいせきん 四ツ屋遺跡群12

所在地 坂城町大字坂城宇唐跡9188-1
事業主体 株式会社 柳沢精機製作所
事業名 駐車場造成
調査期間 平成20年5月14日
面積 575㎡ (44㎡)
担当者 時信 武史

遺跡の環境と調査にいたる経緯

四ツ屋遺跡群は、「坂城町遺跡分布図」によると坂城地区の四ツ屋、御所沢に広がる縄文時代から平安時代の集落址とされる遺跡である。本遺跡群は名沢川や入田川によって形成された扇状地に立地している。

本遺跡群内では今までに12回の試掘調査が行われているが、集落址として積極的に評価出来る成果は得られていない。

今回、株式会社柳沢精機製作所による駐車場造成事業が計画され、遺跡の有無を確認するため試掘調査を実施することとなった。

調査の成果

今回の計画地は、西面する扇状地上に立地している。試掘トレンチを東西方向に設定し遺構の有無を確認した。

試掘調査の結果、遺構・遺物の検出はなく、地表下約0.15mにて地山の砂礫層を検出するにいった。



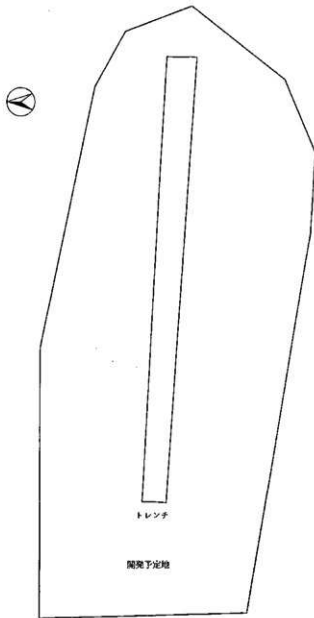
試掘調査位置図 (1 : 2500)



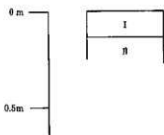
トレンチ掘削状況 (東より)



トレンチ検出状況 (西より)



試掘トレンチ設定図 (1:250)



- I層 黒褐色土 (10YR3/2) 弱粘質泥。耕作層。
 II層 明黄褐色土 (10YR6/8) 砂礫層、場所によっては締りがある。地山同。

基本層序模式図

3 ^{うわまち いせき}上町遺跡V

所在地 坂城町大字中之条字上町1310-1
事業主体 坂城町土地開発公社
事業名 宅地造成
調査期間 平成20年6月2日
面積 1,894㎡ (141㎡)
担当者 時信 武史

遺跡の環境と調査にいたる経緯

上町遺跡は、坂城町中之条に所在し、谷川によって形成された扇状地上に立地している。本遺跡は中之条遺跡群に統括される遺跡で、「坂城町遺跡分布図」によると縄文～平安時代の集落址とされている。

本遺跡周辺では、平成6～7年度に実施された通称坂城インター線や消防分署の建設に伴う発掘調査によって、古墳時代後期～平安時代を主体とした集落址であることが判明している。

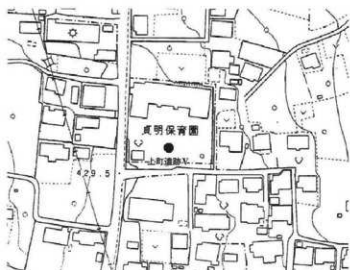
今回、坂城町土地開発公社による宅地造成事業が計画され、遺跡の有無を確認するため試掘調査を実施することとなった。

調査の成果

今回の調査地点は、消防分署調査地点の約100m南である。トレンチを2箇所設定して遺構の有無を確認した。

試掘調査の結果、地表下約0.4mにて地山の砂礫層を検出し、この面を掘り込み面とする住居址3棟、ピット1基が確認された。遺物は出土しなかったため時期は不明である。

試掘調査の結果を踏まえて事業主と再協議を行い、記録保存のための発掘調査を実施することとして調査を終了した。



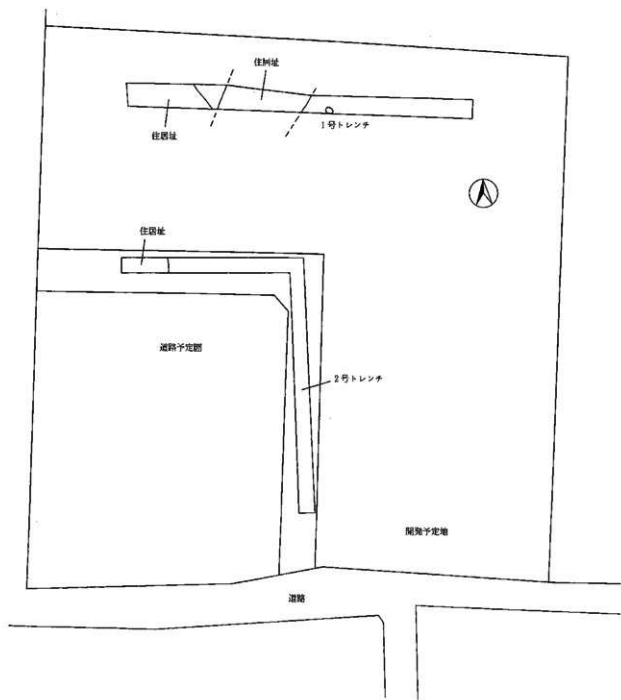
試掘調査位置図 (1 : 2500)



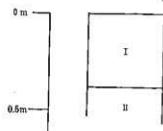
トレンチ掘削状況 (東より)



2号トレンチ検出状況 (西より)



試験トレンチ設定図 (1 : 400)



- I層 灰褐色土 (10YR2/2) 砂礫を含む。造成上層。
 II層 明黄褐色土 (10YR5/6) 砂礫層、地山層。

基本層序模式図

4 たまちいせきぐん 田町遺跡群7

所在地 坂城町大字坂城字田町6555他
事業主体 長野県千曲建設事務所
事業名 県道拡幅
調査期間 平成20年7月16日
面積 450㎡ (50㎡)
担当者 時信 武史

遺跡の環境と調査にいたる経緯

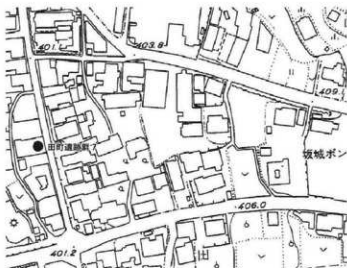
田町遺跡群は坂城町坂城に所在し、日名沢川によって形成された扇状地上に分布している。「坂城町遺跡分布図」によると古墳～平安時代の散布地とされ、過去に数回試掘調査が実施されている。平成6・7・10・12年度は宅地造成事業、平成18年度は集合住宅建設によって試掘調査を行った。平成6・18年度地点から遺物や遺構が確認されたが、依然として遺跡の詳細がつかめていない。

今回、長野県千曲建設事務所による県道拡幅事業が計画され、遺跡の状況を確認するために試掘調査を実施することとなった。

調査の成果

今回の計画地は、西面する緩斜面の先端付近に位置している。南北方向に2箇所の試掘トレンチを設定し、遺構の有無を確認した。

トレンチを地表面から約1m掘り下げたが、遺構・遺物の検出にはいたらなかった。



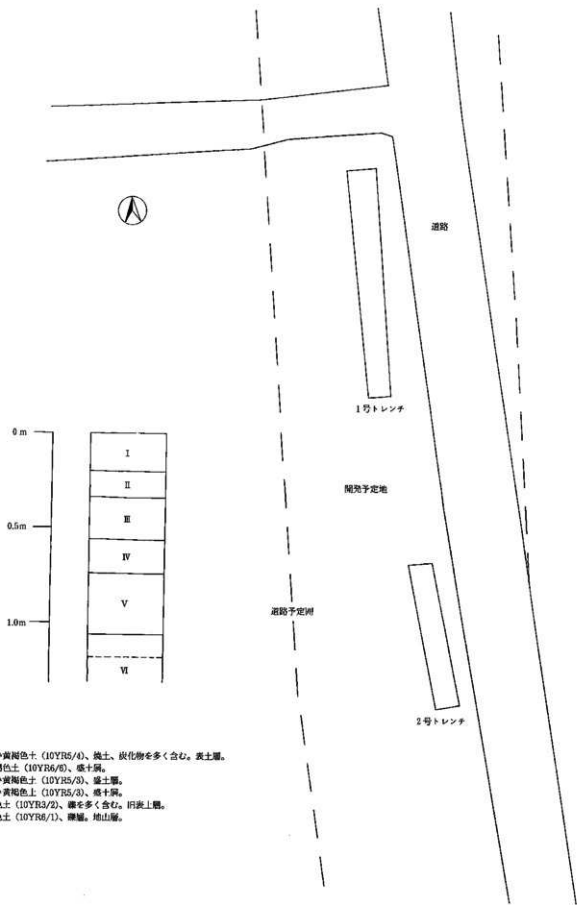
試掘調査位置図 (1:2500)



トレンチ検出状況 (東より)



トレンチ検出状況 (北より)



- I層 におい黄褐色土 (10YR5/4)、換土、炭化物を多く含む。表土層。
 II層 明黄褐色土 (10YR6/8)、礫土層。
 III層 におい黄褐色土 (10YR5/3)、礫土層。
 IV層 におい黄褐色土 (10YR5/3)、礫土層。
 V層 黒褐色土 (10YR3/2)、礫を多く含む。H表土層。
 VI層 褐灰色土 (10YR6/1)、礫層、地山層。

基本層序模式図

試掘トレンチ設定図 (1 : 250)

5 うわまちいせき 上町遺跡Ⅶ

所在地 坂城町大字中之条上町1138-3
事業主体 坂城町建設課
事業名 道路改良事業
調査期間 平成20年7月11日
面積 4,320㎡ (3㎡)
担当者 時信 武史

遺跡の環境と調査にいたる経緯

上町遺跡は、坂城町中之条に所在し、谷川によって形成された扇状地上に立地している。本遺跡は中之条遺跡群に統括される遺跡で、「坂城町遺跡分布図」によると縄文～平安時代の集落址とされている。

本遺跡周辺では、平成6～7年度に実施された通称坂城インター線や消防分署の建設に伴う発掘調査によって、古墳時代後期～平安時代を主体とした集落址であることが判明している。

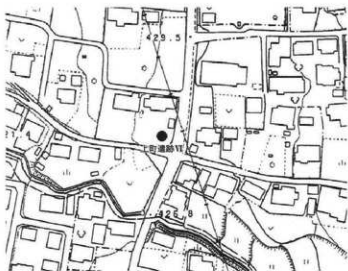
今回、坂城町土地開発公社による宅地造成事業が計画され、遺跡の有無を確認するため試掘調査を実施することとなった。

調査の成果

今回の調査地点は、坂城町土地開発公社宅地造成調査地点の50m南西である。トレンチを1箇所設定して遺構の有無を確認した。

試掘調査の結果、地表下約0.5mにて地山の砂礫層を検出し、この面を確認面とするビット1基が確認された。遺物は出土しなかったため時期は不明である。

試掘調査の結果を踏まえて事業主と再協議を行い、記録保存のための発掘調査を実施することとして調査を終了した。



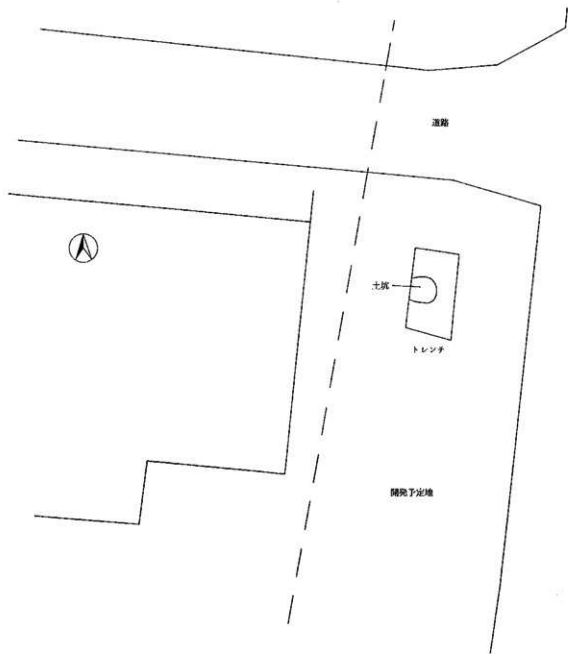
試掘調査位置図 (1 : 2500)



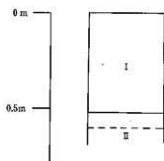
トレンチ検出状況 (東より)



トレンチ検出状況 (北より)



試掘トレンチ設定図 (1:100)



- I層 黒褐色土 (10YR2/2)、砂礫を含む。厚さ十層。
- II層 明黄褐色土 (10YR6/6) 砂礫層、地山層。

基本層序模式図

6 まちよこ おいせり 町横尾遺跡3

所在地 坂城町大字南条4803
事業主体 中村武司
事業名 集合住宅建設事業
調査期間 平成20年10月16～17日
面積 994㎡ (90㎡)
担当者 時信 武史

遺跡の環境と調査にいたる経緯

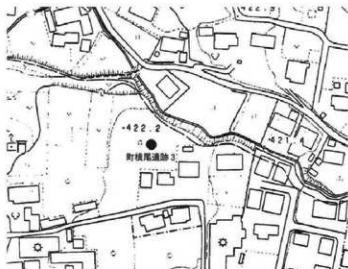
町横尾遺跡は坂城町大字南条に所在し、西方向に流下する谷川の扇状地の扇中央付近、標高約430m付近に位置する。「坂城町遺跡分布図」によると縄文～平安時代の集落址とされ、過去に数回試掘調査が実施されている。平成8年度は宅地造成事業、平成16・18年度は道路改良事業によって、それぞれ試掘調査を行ったが、平成8・18年度調査地点からは堅穴住居址や土坑が検出されている。

今回、中村武司氏による集合住宅建設事業が計画され、遺跡の有無を確認するため試掘調査を実施することとなった。

調査の成果

今回の調査地点は、観音坂城跡の東側に隣接する場所である。トレンチを1箇所設定して遺構の有無を確認した。

試掘調査の結果、地表下約1mにて地山の砂礫層を検出したが、遺構・遺物は確認できなかった。



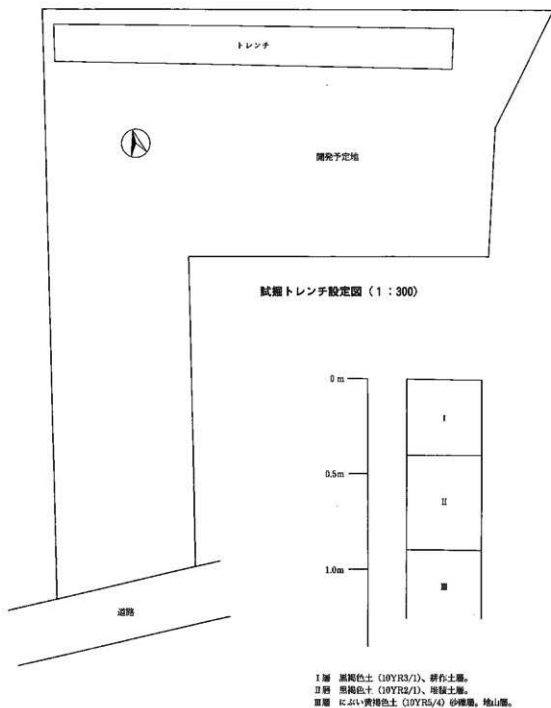
試掘調査位置図 (1 : 2500)



トレンチ掘削状況 (東より)



トレンチ検出状況 (東より)



基本層序模式図

7 かいぜいせき 開畝遺跡 6

所在地 坂城町大字中之条字開畝

2233-5

事業主体 坂城町教育委員会教育文化課

事業名 駐車場造成事業

調査期間 平成20年11月6～7日

面積 847㎡ (120㎡)

担当者 時信 武史

遺跡の環境と調査にいたる経緯

開畝遺跡は御堂川によって形成された扇状地上の扇尖部に立地する。遺跡内には県内初の製鉄遺跡の学術調査例として有名な開畝製鉄遺跡がある。また、同遺跡内では平成11年度に店舗建設に伴って、平成18年度には町営住宅建設に伴ってそれぞれ発掘調査が実施され、古墳時代から平安時代の集落址が検出された（開畝遺跡Ⅲ・Ⅳ）。

今回、坂城町教育委員会が文化センター駐車場造成を計画したため、試掘調査を実施して、遺構・遺物の有無を確認することとなった。

調査の成果

今回の調査地点は、平成18年に発掘調査を実施した場所から北西約100mのところである。トレンチを設定して掘削を行ったところ、地表下約0.9mにて地山の砂礫層を検出し、この面を確認面とする土坑2基が確認された。遺物は出土しなかったため時期は不明である。

試掘調査の結果を踏まえて事業主と再協議を行い、遺跡を盛土保存することとして調査を終了した。



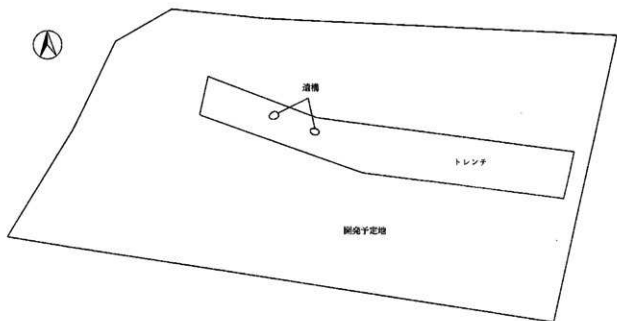
試掘調査位置図 (1 : 2500)



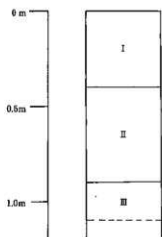
トレンチ掘削状況 (東より)



トレンチ検出状況 (西より)



試掘トレンチ設定図 (1 : 300)



- I層 暗褐色土 (10 YR 3/3)、耕作土層。
- II層 黒褐色土 (10YR 3/1)、砂礫を多く含む。包含層。
- III層 黄褐色土 (10YR 5/6)、砂礫層。地山層。

基本層序模式図

8 寺浦遺跡Ⅳ

所在地 坂城町大字中之条寺浦1145他
 事業主体 株式会社しまむら
 事業名 店舗建設
 調査期間 平成20年12月18日～
 平成20年12月24日～
 面積 4,150㎡ (652㎡)
 担当者 時信 武史

遺跡の環境と調査にいたる経緯

寺浦遺跡は、坂城中町中之条に所在し、標高429m内外を測る御堂川によって形成された扇状地の扇尖部に立地する。「坂城町遺跡分布図」によると縄文～平安時代の集落址とされ、平成6年度に実施された発掘調査では、古墳時代後期と思われる大型の掘立柱建物の検出や8号住居址から平安時代の緑釉陶器片が出土していることから、一般集落ではなく郷家の存在を予想できる古代の集落址である可能性が指摘されている。

今回、株式会社しまむらが店舗建設を計画し、遺跡が破壊される恐れが生じたため、試掘調査を実施して、遺構・遺物の有無を確認することとなった。

調査の成果

今回の調査地点は、平成10年度に試掘調査を実施した場所から南西約100mのところである。トレンチを2箇所設定して掘削を行ったところ、地表下約0.4mにて地山を検出し、これを確認面とする遺構が検出された。発見された遺構はいずれも時期は不明であるが、竪穴住居址3棟、掘立柱建物址1棟、土坑8基であった。事業主体との協議の結果、保護措置をとるものとして調査を終了した。



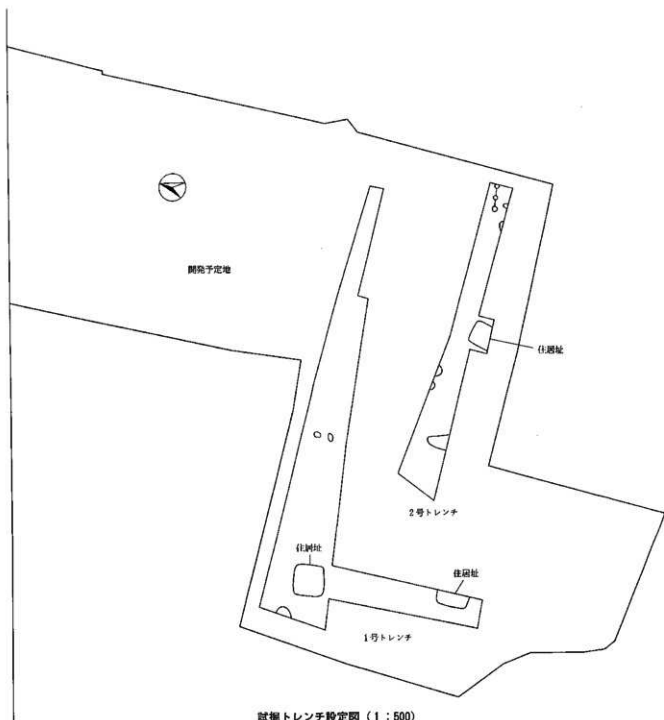
試掘調査位置図 (1 : 2500)



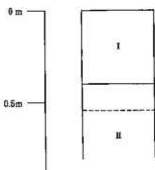
トレンチ掘削状況 (東より)



トレンチ検出状況 (北西より)



試掘トレンチ設定図 (1:500)



- I層 黒褐色土 (10YR2/2)、耕作土層。
- II層 明黄褐色土 (10YR6/6)、砂礫の地山層。

基本層序模式図

第三章 立会い調査の結果

No.	遺跡名	開発主体者	所在地	開発事業名	開発面積 (㎡)	調査期間
1	小野沢遺跡	N T T ドコモ	上平	通信施設新設	1	H20年7月1日～ H20年9月30日
2	上五明条里水田址	帝石パイプライン	上五明	パイプライン埋設	139	H20年6月1日～ H20年10月30日
3	御殿裏遺跡	西澤茂久	南条	集合住宅建設	479	H20年10月20日～ H21年2月16日
4	御殿裏遺跡	西澤茂久	南条	集合住宅建設	584	H20年11月23日～ H21年1月28日
5	田町遺跡群	上田水道管理事務所	坂城	配水管埋設	39	H20年6月18日～ H20年11月28日
6	金井東遺跡群	上田水道管理事務所	南条	配水管埋設	23	H20年6月27日～ H20年9月26日
7	上五明条里水田址	宮崎順一	網掛	宅地造成	992	H20年7月1日～ H20年8月31日
8	上五明条里水田址	帝石パイプライン	上五明	パイプライン埋設	6	H20年8月1日～ H20年9月30日
9	町横尾遺跡	上田水道管理事務所	南条	配水管埋設	34	H20年9月1日～ H21年2月27日
10	中之条遺跡群	上田水道管理事務所	中之条	配水管埋設	128	H20年9月22日～ H21年2月27日
11	豊饒堂遺跡	上田水道管理事務所	中之条	配水管埋設	105	H20年6月18日～ H21年2月27日
12	中之条遺跡群	宮原誠	中之条	工場建設	1,802	H20年9月10日～ H20年12月20日
13	田町遺跡群	藤川正己	坂城	事務所建設	251	H20年10月1日～ H20年11月30日
14	南条遺跡群	千曲建設事務所	南条	河川改修	250	H20年10月1日～ H21年2月27日
15	中之条遺跡群	坂城町建設課	中之条	下水管埋設	300	H20年10月1日～ H21年3月27日
16	御堂川古墳群山田支群	坂城町建設課	中之条	下水管埋設	310	H20年10月1日～ H21年3月27日
17	開畝遺跡	坂城町建設課	中之条	下水管埋設	290	H20年10月1日～ H21年3月27日
18	開畝製鉄遺跡	坂城町建設課	中之条	下水管埋設	250	H20年10月1日～ H21年3月27日
19	上町遺跡	坂城町建設課	中之条	下水管埋設	320	H20年10月1日～ H21年3月27日
20	豊饒堂遺跡	坂城町建設課	中之条	下水管埋設	210	H20年10月1日～ H21年3月27日
21	寺浦遺跡	坂城町建設課	中之条	下水管埋設	110	H20年10月1日～ H21年3月27日
22	上五明条里水田址	大井悦弥	村上	診療所建設	841	H20年10月1日～ H21年3月31日
23	寺浦遺跡	中部電力株式会社	中之条	送電鉄塔建設	101	H20年11月10日～ H21年4月30日
24	東町遺跡	中部電力株式会社	中之条	送電線埋設	710	H20年11月10日～ H21年4月30日
25	日名沢遺跡群	上田水道管理事務所	坂城	配水管埋設	78	H21年1月26日～ H21年3月6日
26	上五明条里水田址	N T T ドコモ	網掛	通信施設新設	1	H21年2月16日～ H21年3月31日
27	町横尾遺跡	上田水道管理事務所	南条	配水管埋設	53	H21年1月19日～ H21年3月6日
28	上町遺跡	上田水道管理事務所	中之条	配水管埋設	77	H21年2月2日～ H21年3月13日
29	上五明条里水田址	千曲建設事務所	村上	県道拡幅	300	H21年2月2日～ H21年3月27日
30	成久保遺跡	上田水道管理事務所	坂城	消火栓移設	1.8	H21年2月12日～ H21年3月18日
31	開畝遺跡	上田水道管理事務所	中之条	消火栓移設	3.9	H21年2月12日～ H21年3月18日



立会調査位置図 (1 : 25,000)

上五明条里水田址



田町遺跡群



上五明条里水田址



立会い調査の写真

報告書抄録

ふりがな	さかきちょうないいせきはつちょうさほうこくしょ
書名	坂城町内遺跡発掘調査報告書 2008
副書名	平成20年度試掘・立会い調査報告書
巻次	
シリーズ名	坂城町埋蔵文化財調査報告書
シリーズ番号	第35集
編著者名	赤池 利博・時信 武史
編集機関	坂城町教育委員会
所在地	〒389-0601 長野県埴科郡坂城町大字坂城6362-1 TEL 0268-82-1109
発行年月日	2009年3月27日

所収遺跡名	所在地	コード		北緯 ° ' "	東経 ° ' "	調査期間	調査面積 (㎡)	調査原因
		市町村	遺跡番号					
金井東遺跡群1	坂城町大字南条	20521		36°26'23"	138°11'50"	2008年4月7日	70	宅地造成
四ツ屋遺跡群12	坂城町大字坂城	20521		36°27'27"	138°11'27"	2008年5月14日	44	駐車場造成
上町遺跡V	坂城町大字中之条	20521		36°26'40"	138°11'42"	2008年6月2日	141	宅地造成
田町遺跡群7	坂城町大字坂城	20521		36°27'42"	138°11'05"	2008年7月16日	50	県道拡幅
上町遺跡VI	坂城町大字中之条	20521		36°26'38"	138°11'41"	2008年7月11日	3	町道拡幅
町横尾遺跡3	坂城町大字南条	20521		36°26'36"	138°11'34"	2008年10月16日 2008年10月17日	90	集合住宅建設
開成遺跡6	坂城町大字中之条	20521		36°27'04"	138°11'44"	2008年11月6日 2008年11月7日	120	駐車場造成
寺浦遺跡IV	坂城町大字中之条	20521		36°26'42"	138°11'36"	2008年12月18日 2008年12月24日	652	店舗建設

所収遺跡	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
金井東遺跡群1	集落址	縄文～平安	竪穴住居址・土坑・溝	なし	
四ツ屋遺跡群12	集落址	縄文～中世	なし	なし	
上町遺跡V	集落址	弥生～平安	竪穴住居址	なし	
田町遺跡群7	散布地	古墳～平安	なし	なし	
上町遺跡VI	集落址	弥生～平安	土坑	なし	
町横尾遺跡3	集落址	縄文～平安	なし	なし	
開成遺跡6	集落址	弥生～平安	土坑	なし	
寺浦遺跡IV	集落址	縄文～平安	竪穴住居址・竪立柱建物址・土坑	なし	

坂城町埋蔵文化財調査報告書

	『開敏製鉄遺跡—第1次調査報告書』	1977
	『開敏製鉄遺跡—第2次調査報告書』	1978
	『東裏遺跡』	1983
	『中之条遺跡群 宮上遺跡Ⅱ』(概報)	1993
	『南条遺跡群 塚田遺跡』	1993
第1集	『南条遺跡群 東裏遺跡Ⅱ・青木下遺跡』	1994
第2集	『町内遺跡発掘調査報告書』	1994
第3集	『町内遺跡発掘調査報告書』	1995
第4集	『南条遺跡群 塚田遺跡Ⅱ』	1995
第5集	『豊饒堂遺跡・上町遺跡・寺浦遺跡・東町遺跡』	1996
第6集	『中之条遺跡群 寺浦遺跡Ⅱ』	1996
第7集	『中之条遺跡群 上町遺跡Ⅱ』	1996
第8集	『上五明条里水田址』	1996
第9集	『町内遺跡発掘調査報告書1995』	1996
第10集	『坂城町試掘調査・立会い調査報告書』	1996
第11集	『町内遺跡発掘調査報告書1996』	1997
第12集	『戊久保・町横尾遺跡』	1998
第13集	『込山Bほか 発掘調査報告書 1997』	1998
第14集	『町内遺跡発掘調査報告書1998』	1999
第15集	『町内遺跡発掘調査報告書1999』	2000
第16集	『開敏遺跡Ⅲ』	2000
第17集	『中之条遺跡群 北川原遺跡Ⅱ』	2001
第18集	『町内遺跡発掘調査報告書2000』	2001
第19集	『中之条遺跡群 宮上遺跡Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ』	2001
第20集	『金井東遺跡群 保地遺跡Ⅱ』	2002
第21集	『町内遺跡発掘調査報告書2001』	2002
第22集	『町内遺跡発掘調査報告書2002』	2003
第23集	『豊饒堂遺跡Ⅲ』	2004
第24集	『坂城町町内遺跡発掘調査報告書2003』	2004
第25集	『坂城町内遺跡発掘調査報告書2004』	2005
第26集	『坂城町内遺跡発掘調査報告書2005』	2006
第27集	『込山遺跡群 込山C遺跡Ⅱ・Ⅲ』	2006
第28集	『込山遺跡群 込山D遺跡Ⅰ』	2007
第29集	『坂城町内遺跡発掘調査報告書2006』	2007
第30集	『南条遺跡群 青木下遺跡Ⅱ・Ⅲ』	2007
第31集	『開敏遺跡Ⅳ』	2008
第32集	『町横尾遺跡Ⅱ』	2008
第33集	『坂城町内遺跡発掘調査報告書2007』	2008
第34集	『中之条遺跡群 上町遺跡Ⅳ・Ⅴ』	2009
第35集	『坂城町内遺跡発掘調査報告書2008』(本書)	2009

坂城町埋蔵文化財調査報告書第35集

坂城町内遺跡発掘調査報告書2008

発行日	2009年3月27日
編集者	坂城町教育委員会
	〒389-0601 長野県埴科郡坂城町大字坂城6362-1
	TEL 0268 (82) 1109
印刷者	信毎書籍印刷株式会社
	〒381-0037 長野県長野市西和田1丁目30番3号
	TEL 026 (243) 2105

